

# NEWS LETTER

Vol. 6  
2022.2月

## 主要指標 (2021年12月速報値)

※請負は請負・委任の合計

【会員数(人)】		前年同月比較		【新入会員数(人)】		前年同月比較		【退会会員数(人)】		前年同月比較	
合計	701,889	(▲ 9,851)	合計	71,289	(+4,515)	合計	67,819	(▲2,773)			
男性	463,366	(▲ 7,661)	男性	43,851	(+2,702)	男性	42,664	(▲1,396)			
女性	238,523	(▲ 2,190)	女性	27,438	(+1,813)	女性	25,155	(▲1,377)			
【受注件数(件)】		前年同月比較		【就業延人員(人日)】		前年同月比較		【契約金額(千円)】		前年同月比較	
合計	2,765,768	(▲ 8,884)	合計	49,529,764	(+293,654)	合計	240,508,850	(+1,774,840)			
請負	2,718,651	(▲10,091)	請負	43,160,691	(+ 67,264)	請負	206,463,773	(+ 12,363)			
派遣	47,117	(+ 1,207)	派遣	6,369,073	(+226,390)	派遣	34,045,077	(+1,762,477)			

## トピックス

### 「シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 2021」が開催されました

1月19日(水)、コンgresクエア日本橋(東京都中央区日本橋)において、検温、手指の消毒、マスク着用、三つの密が発生しない席の配置など基本的な感染防止策を徹底して、「シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 2021」が開催されました。

新型コロナウイルスの新規感染者が増加する中でしたが、20都府県のセンター・連合の役職員及び会員、シルボンヌ全国大会実行委員会関係者など107人、また、ホールに隣接するホワイエでの独自事業製作品の展示・販売には、9センター及び2連合から16人の方々にも参加いただきました。



片山 さつき参議院議員



岸本 裕紀子 様

開会に先立ち、片山 さつき参議院議員(自由民主党シルバー人材センター活性化議員連盟)から、センター事業やシルボンヌ(女性会員)に対する力強い応援のごあいさつを、また、第一部では、ドラマ化された「定年女子」の著者でエッセイストの岸本 裕紀子様から、「60を過ぎて仕事をしたら、世界が広がった」と題して、軽妙な語り口で基調講演をいただくとともに、会場からの質問にもお答えいただきました。

第二部では、「シルバー人材センターにおける女性活躍事例発表」として、大野市センター(福井県)、富谷市センター(宮城県)、芦屋市センター(兵庫県)の3センターから、独自事業などを通じて女性会員がいきいきと活躍している事例を具体的に、わかりやすく発表いただきました。

最後には、大会実行委員全員により大会アピールの宣言があり、満場の拍手をもって採択されました。



ホワイエの11のブースでは、会員手づくりの様々な製品が展示・販売されるとともに、参加者の交流の場となりました。

シルボンヌ全国大会のライブ映像は、[全シ協ホームページ](#)から、事例発表の資料は、[全シ協会員専用ページ](#)からご覧いただけます。

特集

独自事業の取組② - 80歳を超えても活躍できる就業機会の創出 -

会員の創意と工夫による独自事業は、会員が楽しさ、やりがいを感じながら参画することで、センターの活性化につながるとともに、いくつになっても活躍できる就業機会の創出につながります。

また、地域の課題解決に密接に関連したり、地域の自治体等の施策と連携した独自事業は、地域社会にセンターの存在感を示すことになり、地元自治体の理解や協力、新規入会の増加や退会会員の減少につながるのではないのでしょうか。

今回は、そうした特徴ある取組の一部を紹介しますが、ぜひ皆様の独自事業の情報を企画情報課までお寄せください。  
(注) 以下「センター」は省略します。

地域の課題解決・地元自治体等との連携

○ 学習指導要領の改訂により、2020年度から小学校のプログラミング教育が必修化されたことから、小学4～6年生向けのScratch「キッズ・プログラミング教室」(体験コース、基礎コース及び応用コース)を開講している。 [神奈川県相模原市]

○ スーパーまで行く手段がない、近くに子供や親せきがいななど買い物に困っている人に代わって、スーパーで取り扱っている食料品、日用品をインターネットを活用して、会員が利用者登録から商品選択、発注までの作業をその人の自宅にタブレットを持参し、一緒に行く。(買い物ねっとお助け隊) [新潟県柏崎市]

○ 学校側からの相談で、市内の2つの高校の購買で、会員手作りのおにぎりや特産のさといもを使ったコロッケなど地元産の食材を使ったおかずを販売。生徒から好評を得ている。 [福井県大野市]



○ 市から受託した大学生等生活応援養父市産品送付業務をきっかけに、女性会員の就業機会拡大を目的に、レトルトパックの炊き込みご飯の素3種類とカレーを商品開発して販売。市の地域ブランド推奨品「やぶの太鼓判」の認定を受けた。 [兵庫県養父市]



○ 健康で安心して暮らせるまちをめざし、市と連携してフレイル予防(虚弱の先送り)事業「毎日元気にクラス」に取り組んでいる。会員が「笑いと健康お届け隊」となり、養父市内に出向き、各地区週1回1時間程度の教室で、健康につながる「運動」「栄養」「社会参加」プログラムを伝えている [兵庫県養父市]

伝統継承の取組

○ 高齢化や人手不足などにより地域の伝統工芸品の製作や伝統野菜の栽培などが存続の危機に瀕していることから、多くのセンターで伝統の継承に積極的に取り組んでいます。遊休地・休耕地の活用やふるさと納税返礼品に登録するなど、地域の自治体などと連携して取り組んでいるセンターもあります。

**[伝統工芸品等]** 彼岸花<造花>(福島県喜多方市)、草人形<ハスの美>(茨城県阿見町)、獅子舞用わらじ(東京都奥多摩町)、土人形(長野県中野広域)、田面船(広島県尾道市)、金魚ちょうちん(山口県柳井広域)、さげもん・柳川まり(福岡県大川市・柳川市)、甘木絞り(福岡県朝倉市)、精霊船(長崎県大村市)、多くのセンターで行われている門松・しめ縄作り・わらじ作りなど

**[伝統野菜・特産品等]** ハスカップジャム・ソース(北海道恵庭市)、富谷茶(宮城県富谷市)、まこもたけ(茨城県潮来市)、所沢うどん(埼玉県所沢市)、治助イモ(東京都奥多摩町)、あしたば佃煮(東京都大島町)、足柄茶(神奈川県山北町)、加賀丸いも(石川県能美市)、エアリーフローラ(石川県宝達志水町)、上庄さといも(福井県大野市)、水口かんぴょう(滋賀県甲賀市)、門真レンコン・くわい(大阪府門真市)、朝倉山椒(兵庫県養父市)、トレビス<赤チコリ>(赤チコリ)(岡山県浅口市)、平家味噌(熊本県八代市)、桜島小みかん(鹿児島県鹿児島市) など

独自事業の運営上の留意点

独自事業の立ち上げに多額の資金が必要になったり、売り上げが伸びず、事業の継続が難しくなるなどのリスクもありますので、①一般民間企業との競合、受託事業とのバランス、運営上のリスクや作業の危険性 ②販売価格やサービス対価等の設定 ③行政や関連業界の了解・協力 ④商品の安定した販路の確保などに留意しましょう。(「運営の手引」から)

全シ協からのお知らせ

- 「シルバー人材センターのための広報スキルアップ講座」が4月から始まります！「月刊シルバー人材センター」4月号から10回連載します。ご期待ください。
- 外務省「JAPAN SDGs Action Platform」の取組事例に全シ協のSDGs活動が掲載されました！センターの様々な取組は、SDGs(持続可能な開発目標)と深くつながるものです。全シ協は、センター、連合本部と連携し、持続可能な社会の実現を目指します。

